



ミュージアムで常設展示している、昭和の名工・新出九一郎 作の **狸立像** です。



【新出九一郎】

明治22(1889)年
～昭和44(1969)年



【ハ相縁起】

- 笠 … 災難から身を守る、備えあれば憂い無し
- 目 … 気を配り、正しい判断
- 笑顔 … いつも愛想良く
- 腹 … 冷静、大胆、広い度量
- 徳利 … 徳を積み、飲食困らず
- 通帳 … 世渡りは信用第一、商売繁盛
- 金袋 … 金運に恵まれる
- 尻尾 … 終わり良ければ全てよし

狸の置物は、「他を抜く」に通じて縁起が良いとされています。

狸の置物は、江戸時代から作られていましたが、お馴染みの笠を被り、酒徳利と通帳を提げた信楽焼の狸は、明治後期から狸の焼物の製作をしていた陶芸家・藤原隼造(1876～1966年)が、昭和初期に京都から滋賀県の信楽に移住し、狸専門の窯を開いたのが起源です。

ちなみに、信楽焼の狸には、昭和20年代に石田豪澄(僧侶・仏教学者)が提唱したハ相縁起が備わっているとされています。



タヌキ

イヌ科タヌキ属

像高

51.5 cm



来待石製

モニュメント・ミュージアム
来待ストーン
MONUMENT MUSEUM KIMACHI STONE

〒699-0404
島根県松江市宍道町東来待 1574-1
休館日：毎週火曜日(祝日の場合翌平日)
☎ 0852-66-9050

ミニ企画展

『広報しんじで振り返る
来待ストーン』を開催します。
会場：ミュージアム フリースペース
4月29日(水)～7月20日(月)

来待ストーンは
令和8年4月で
開館 30周年
を迎えました。

開館：平成8(1996)年

30th

